

# 「とやま和牛～酒かす育ち～」のブランドコンセプト

農業技術課

## 現状および問題点

- 国内トップレベルの品質
- 他県のブランド牛と比較し認知度が低い
- 特色がない
- 流通量が少ない（年間出荷頭数600頭）

## 具体的な対応

- 品質の良さをベースに地域の特徴を生かしたオンリーワンの牛肉生産
- 酒どころ「富山」の強みを生かした「酒かす入り飼料」を和牛のえさとして利用

## コンセプトとターゲット

- 高級で憧れの商品
- 県民が「特別な日」に食べる牛肉
- 県民に「月に一度の贅沢」を提供

## ブランド化のための手法

商品コンセプト	ブランドストーリー	食べ方の提案	情報発信
<ul style="list-style-type: none"><li>● 高い品質</li><li>● SDGsに寄与</li><li>● 恵まれた自然環境</li><li>● 酒粕の健康イメージ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 消費者の感情・感動・共感</li><li>● 記憶に残る物語構成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 新しい食べ方の提案</li><li>● 精肉店や飲食店による情報提供</li><li>● 商品の見せ方の工夫</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 販売店の情報</li><li>● メディア等を活用した情報発信</li></ul>

## 取組みによる効果

- 生産者の意欲向上、所得向上
- 地域住民が支える仕組みの構築（郷土の誇りとしてブランドを支える）
- 異業種（肉用牛協会、酒造組合、バイヤー、料理関係等）とのコラボレーションによる新たなビジネス展開
- ブランド牛を核とした「オール富山」としての取組み

# ブランドストーリーの構成

コンセプト等	キーワード
ターゲット	県民（メインターゲットは大人）
場面	「特別な日」「特別な時間」「特別な人と」
高い品質	熟練の肥育技術、全国屈指の肉質、希少な肉
味わい・特徴	地酒の酒かすをエサに利用（地域資源循環） 甘さと香り、きめ細かさ、とろける食感 ジューシーでやわらか
SDGsへの寄与	ターゲット12（つくる責任つかう責任） ターゲット17（パートナーシップで目標達成しよう）
恵まれた自然環境	立山連峰、豊富な水、米・酒どころ富山
歴史	酒蔵の歴史、県内和牛生産の歴史
酒粕の健康イメージ	酒粕の機能性（高栄養、美肌、腸内環境改善、 脂質代謝改善、抗酸化作用）